

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

情報公開制度と個人情報保護制度の運用状況をお知らせします。

平成22年度の情報公開制度運用状況

区分	全部公開	一部公開	非公開	その他	合計
公文書公開請求	4件	0件	1件	1件	6件

平成22年度の個人情報保護制度運用状況

開示請求件数	訂正請求件数	是正の申出	合計
2件	0件	0件	2件

情報公開制度とは

町が持っている情報を皆さんからの請求に応じて公開する制度です。公開請求された情報は原則として公開しますが、個人に関する情報など条例で定める非公開情報は公開できないことがあります。公開請求をする場合は公開請求書の提出が必要となります。

個人情報保護制度とは

町が持っている個人情報を適正に取り扱うためのルールを定めるとともに、本人からの請求に応じて自己情報の開示や訂正などを行う制度です。個人情報を取り扱う町の事務については、事務の名称などを記載した登録簿を作成していますので、閲覧することができます。

開示請求をする場合には開示請求書の提出が必要となります。

総務課 ☎84-0310

選挙人名簿抄本の閲覧状況の公表

公職選挙法の規定により、各市区町村選挙管理委員会は、毎年少なくとも1回、選挙人名簿抄本の閲覧状況について公表することとなっています。

平成22年度中の選挙人名簿の抄本の閲覧申出者は次のとおりです。

選挙管理委員会（総務課） ☎84-0310

閲覧できる場合

- 1 特定の者が選挙人名簿に登録された者であるかどうか確認するために閲覧する場合
- 2 公職の候補者等、政党その他の政治団体が政治活動・選挙運動を行うために閲覧する場合
- 3 統計調査、世論調査、学術研究その他の調査研究で公益性が高いと認められるもののうち政治・選挙に関するものを実施するために閲覧する場合

選挙人名簿抄本の閲覧状況

閲覧年月日	申出者の名称	代表者又は管理人の氏名および主たる事務所の所在地（※閲覧申出者が法人の場合）	利用目的の概要	閲覧に係る選挙人の範囲
平成22年9月8日	一般社団法人 共同通信社	社長 石川 聡 東京都港区東新橋1-7-1	ニュース報道のための有権者意識調査	延沢地区（12件） 吉田島地区（12件）

在外選挙人名簿抄本の閲覧状況

期間中の在外選挙人名簿抄本の閲覧は、ありませんでした。

子育てワンポイント

87

おじいちゃんおばあちゃんが甘やかしてしまつて困っています。

A 物事の価値観や常識は、時代の流れとともに変わっていきます。子育てについても同様で、おばあちゃんの時代の子育てと現在の子育てでは変わってきている点もあるでしょう。現代のお母さんは、本やテレビ、インターネットなどの情報量が多いので知識も豊富です。そういうお母さんたちにとって、昔流のおばあちゃんのお育児は抵抗感があるかもしれません。しかし、もともと100点満点の育児法などありません。ちょっとお母さんの常識から外れていても、両親以外の人に触れ、愛情をいっぱいもらうこと、多くの目で子どもを見守って育てることのメリットの方が大きい場合が少なくありません。

「おばあちゃんがやたら甘

いお菓子やジュースを与える」といった困った場合は、一緒に健診などについて来てもらい、医師や保健師の話を聞いてもらってはどうかでしょうか。お母さんから言うこと見の対立になってしまうことも、第三者から言われるとうまくいくかもしれません。おじいちゃん、おばあちゃんも孫が健康に成長することを願っておられることは間違いないと思います。家族が仲良く平和であることは、子どもにとっても幸せなことだと思います。

問 保険健康課

☎84-0327



忍者ごっこで遊んでいるところ

開 幼稚園を卒園した私が開成幼稚園に就職し、早一八年。その間産休・育児でお休みもいただきましたが、たくさんのお子もたちや保護者の方との出会いがありました。毎年新たな子どもたちとの出会いの中で、色々な驚きや感動があります。

入 園して一か月。五月の年少児。少しずつ園にも慣れ友だちとのかわりが見られるところでも、

保 育室で車遊びをしている男の子、数人の間から泣き声が聞こえてきました。見ると一台のミニカーを取り合っているようです。訳を聞くと「僕が最初に見つけたんだ！」「僕も白い車を使いたいの！」と思いを伝えてくれました。まずは自分の思いを主



開成幼稚園教諭 小林雅子

「使ってもいいよ」と一言。「いいの？〇くんも使いたいのじゃない？」と聞くと、「大丈夫。僕ももうひとつあるし」「優しいね。どうもありがとう」私がその子をほめてみると「かわいいよ」さっきまで白い車を握りしめていた子が友だちに渡しました。「じゃあ、僕もこれ順番にする！」相手の子も二つになっ

張すること、これも大切なこととです。「そうか、二人ともこの車が使いたんだね」二人の思いを受け止めることで、気持ちが少しづつ落ち着いてくるのがわかります。「車は一台だものね。どうしようか？」と伝えると、そばで見ている別の子が黙って車を差し出しました。「えっ？」私も二人の男の子もびっくりしている

集 団生活の良さというのではありません、そばで見ている友だちのかわりから刺激を受け、自分の行動を見つめ直したのだと思います。時間にしては数分の出来事でしたが、でもその中の三人の心の変化、成長はとても大きかったように思います。

ま まだまだ集団生活は始まったばかり。これからたくさん葛藤や迷いにおつかれることもあるでしょう。そんな時、今回のような友だちの優しさやふれ、道が開かれることもあると思います。困ったことがあっても互いが支え合える関係をこれから築いていって欲しいと思います。

そ して私自身も一人一人の子どもたちとの出会いを、そして日々成長する子どもたちとのつながりを大切に保育していきたいと思